

平成28年度第1回古河市子ども・子育て会議 摘録

日 時	平成29年3月23日（木）15：30～17：00	
場 所	古河市役所総和庁舎 第二庁舎3階会議室1・2	
出席委員	江原 誠（PTA連絡協議会）、山本 幸江（保育園・保育所保護者会） 宇津木 祐喜子（幼稚園保護者会）、飯山 由美（自然育児の会・よちよちクラブ） 稲見 裕子（病院・保育設置事業所）、野口 保子（健康づくり協力員） 橋本 英三（企業）、斎藤 紀子（民政委員児童委員） 大高 滋（障害児父母の会連合会）、新谷 和世（子ども会育成連合会） 牧川 剛（市立私立幼稚園・認定こども園連合会）、工藤 義人（民会保育園協議会） 松本 智子（教育委員）、深津 恭子（校長会）、 楠田 和仁（子ども・子育て会議前副会長・青少年相談員）、小林 淳子（公募）	
欠席委員	なし	
事務局	福島 正浩（市長公室長） 安田 隆之（子ども入園課課長補佐） 樋口 和久（子ども入園課係長）	落合 昇平（子ども入園課長）、 関 みちる（子ども入園課係長） 田畑 一起（子ども入園課主幹）
内 容	●委嘱状交付式 ●子ども・子育て会議 （1）子ども・子育て支援事業計画について （2）古河市の保育施設等概況 （3）その他	
事務局 楠田会長 工藤委員 牧川委員	【委嘱状交付式】 各委員に市長より委嘱状を交付 《市長挨拶》 平成27年に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、市では事業を推進していますが、質・量ともに更なる推進が必要だと考えています。皆様には支援事業計画を点検、評価をしていただき、支援事業計画の推進役としてご協力をお願いします。 【子ども子育て会議】 《会長・副会長の選出》 会長：楠田委員 副会長：斎藤委員 《議事》 （1）子ども・子育て支援事業計画 資料1・2に基づき説明 事務局からの説明は終了しました。皆様のご意見を求めます。 えがお保育園の方から3歳児の接続について依頼がありましたが、どうしても3歳児の受け入れは困難ということで、その他の支援は了承しました。ただ、0・1・2歳の受け入れ先が少ない中で、えがお保育園は必要な保育園だと考えています。 私のところで、おはな保育園の3歳以上を受け入れしています。待機児童がいるなかで、えがお保育園は必要ではないかと考えています。	

大 高 委 員	3歳までの教育は一生を左右すると言われ、大変重要な時期です。0歳から子どもを預けるということについて、時代の流れだと思うのですが、疑問に感じています。おじいちゃん、おばあちゃんも一緒に三世代で子育てをするのが、本当の子育てではないかと考えます。
牧 川 委 員	先日、姫路の認定こども園での事件があり、このような事件があると我々も同じイメージをもたれることもあるので迷惑に感じる場合もあります。こちらの施設は、小規模保育施設ですが、立ち上げるときは、十分に準備をしてほしいと思います。
新 谷 委 員	幼稚園教諭をしていましたが、子どもが産まれ幼稚園教諭を続けるか悩みました。0歳児から預けることで、家庭が成り立つのであれば、預けた部分のマイナス部分を、家族や夫婦でどのように埋めるかを親が勉強する必要がありますね。 えがお保育園については、5月の開園に向け人員確保や衛生面など準備を整える必要があります。子どもを育てる夫婦にとっては、このような施設は大変重要な施設であり、えがお保育園では、内容の充実や保育士の教育などについても考えているものと思われると思います。開園してほしいと考えています。
工 藤 委 員	施設を作っても次々に働くお母さんが増えてきています。0歳から子どもを預けたからといって、大人になって問題があることはないです。愛情を持って育てています。
江 原 委 員	働く母親は、収入が少ないという理由だけでなく、社会に出て働きたいという理由の母親もいると思います。人によって違うと思うので、その点に注目すべきだと考えます。 施設を作っても預けたい母親は次々に増え、溢れてしまうと思います。施設が無いよりは有る方がいいとは思いますが、将来的に子どもが減るので、施設を整備する方法以外について古河市はどのように考えているのか教えて欲しいです。
楠 田 会 長	今ある施設に分配するのは、面積要件などもあり難しいのではないかと考えています。 足りない部分は補わないといけませんね。子どもが減った時には、子育て施設以外の活用や減らしていくことも見据える必要があります。 今後、150人分の受け入れ人数の増加が見込まれていますが、古河市の子どもの人数は毎年300人程度減っています。供給過多にならないように注意は必要ですが、子ども・子育て会議としては、えがお保育園については、必要な施設ということでよろしいでしょうか。
(委 員)	異議なし
楠 田 会 長	その他、ご意見等がありますか。
工 藤 委 員	「トントンキッズ・こが」の定員数は何名でしょうか。
事 務 局	30名と事前に報告いただいています。
工 藤 委 員	国の貧困対策事業が10億円あってそのうち1割しか使われていないとの話を聞きました。古河市の貧困対策の現状はどのようになっているのでしょうか。また、貧困の定義もよくわかりませんね。
事 務 局	貧困対策については、後程担当課に照会し、委員の皆様にご伝えています。
工 藤 委 員	市の障害児対策はどう考えているのでしょうか。現場はかなり一杯一杯ですし、特に軽度の障がい児の受け入れや対策も課題だと思います。

事 務 局	障害児対策についても、担当課に申し伝えさせていただきます。 今日様々なご意見を聴きましたが、事業計画の目的は、量の確保と質の向上です。待機児童（0・1・2歳）の現状を踏まえた量の確保についてと、障がい児に対する加配などの質の向上について、この会議の中で議論していく必要があると思いますので、今後事務局で情報収集し提供していきます。
工 藤 委 員	会議資料は事前にいただくことはできないでしょうか。
事 務 局	なかなか資料作成に時間がかかり難しいのですが、子ども・子育て会議通信を発行するので、ご一読いただいたうえで、会議に参加していただきたいと考えています。
新 谷 委 員	大まかな会議の回数を教えてください。
事 務 局	5月に4月時点の待機児童数を取りまとめたうえで開催をしたいと考えています。その後、7月に今年度が支援事業計画の中間年度となるので、数値の見直しなどについて皆様のご意見を伺います。計画数値を見直すのであれば2月ごろの実施も考えています。
楠 田 委 員	それでは以上で、終わりにしたいと思います。 さまざまな意見をいただき、ありがとうございました。